



たてやま

# 議会だより

No.73

2020.2.1

■発行／立山町議会 ■責任者／議長 村田 昭 ■編集／議会広報特別委員会



## いよいよオリンピックイヤー

武道協会稽古始め。今年は女子柔道形の模範演技。(撮影：森 貴之)

### 令和元年 12月定例会

〈12月定例会・補正予算〉……………	2	〈議員の賛否一覧〉……………	10
〈常任委員会の審議〉……………	3～4	〈決算特別委員会〉……………	11
〈一般質問〉 7名の議員が質問……………	5～9	〈最近の議会活動・行政視察報告〉…	12～13
〈10月臨時会〉……………	9	〈行政視察受入状況 ほか〉……………	14



室堂山で建設中の携帯電話基地局

自然景観に配慮した基地局

# 令和元年度一般会計補正予算額 1億5,188万7千円 (一般会計総額128億4,473万1千円に)

## 令和元年度一般会計の主な補正

- 移動通信用施設整備事業……………2,500万円  
(立山町五色ヶ原地区携帯電話不感地帯解消基地局整備工事の追加費用)
- 埋蔵文化財センター施設整備事業……………2,310万円  
(トイレの改修および正面駐車場のバリアフリー化)
- 林道災害復旧事業……………2,005万円  
(台風19号で被災した林道長倉線の法面修復工事)
- 小学校施設建設等整備事業……………1,545万円  
(高野小学校の渡り廊下、駐車場、側溝の改修工事など)
- 環境センター運営事業……………1,459万円  
(生ごみ処理機やゴミ分別表ポスターの更新など)

## 条例の制定および改正

- 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定  
令和2年度からの会計年度任用職員制度開始に伴い、関係条例を整備するもの。
- 立山町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定  
会計年度任用職員制度開始に伴い、新規に条例を制定するもの。
- 立山町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の全部改正  
令和元年10月よりスタートした、幼児教育・保育の無償化に伴う改正。
- 立山町職員の給与に関する条例及び立山町長、副町長及び教育長の給与に関する条例の一部改正  
国・県の人事院勧告を受けて、給料表の改正等を行うもの。
- 立山町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正  
国・県の人事院勧告を受けて、議員の期末手当支給月数を改正するもの。
- 立山町職員等の旅費に関する条例の一部改正  
県内他市町村と同水準にするもの。
- 立山町水道事業給水条例の一部改正  
水道法の改正に伴い、給水装置工事事業者の更新手数料(3千円)を追加するもの。

令和元年12月定例会は、12月5日から18日までの14日間にわたって開かれ、決算認定2件、専決処分の承認1件、補正予算4件、条例の制定および改正7件、最終日追加の契約の変更5件の合計19件の議案を可決しました。

一般質問では、7名の議員が町政全般について質問を行いました。  
(質問と答弁の要約は、5ページから9ページです)

会議録は、2月中に図書館及び、町ホームページで閲覧できるようになります。

町議会では、2部門の常任委員会に分かれて、提出議案を審議しています。

## 総務課

**Q** 「移動通信用施設整備事業」について、工法変更による請負費増額とあるが変更内容は。

**A** 工事予定箇所に復元不可能な植生群があり、その場所を避ける必要が生じたため、基地局とアンテナを一体で整備する予定であったが、別の場所に基地局を設置することとなった。

## 教育課

**Q** 大規模改修工事中の高野小学校屋内運動場と校舎をつなぐ渡り廊下の耐火工事において、工事に至るまでの経緯は。

**A** 工事の建築確認申請の段階で、既存の渡り廊下が現在の耐火基

準を満たしていないとの県の指摘を受けたことから、今回の工事が必要となった。



高野小学校

## 企画政策課

**Q** 「ふるさと納税寄付金」について、大幅に増額となっている要因は。

**A** 11月末で昨年度の実績を上回ったことから、今回、増額補正となった。

明確な理由は分析できていないが、昨年度多額の寄付金を集めた県外の4市町が令和元

## 消防本部

**Q** 上段分団詰所の移転新築工事について今後の工程等はどうなるか。

**A** 今年度は既存詰所に隣接する敷地の取得を計画しており、建設に支障となる空き家等の解体までを完了する。敷地造成及び新築工事については令和2年度の実施を予定している。



ふるさと納税のパフレット



上段分団詰所

# 総合公園調査の内容は 施設老朽化の進行を点検

## 健康福祉課

**Q** 民生委員・児童委員の推薦について、各地区の世帯数等を考慮して、バランスの取れた配置となるように町が主体となって配慮すべきでは。

**A** 現状を表す客観的な数字を引き続き示すとともに、次期改選に向け、推薦する地区代表者と委員、行政との関係性も重要であると認識している。

**Q** 立山町特定教育・保育施設及び特定地域型事業の、町での地域型保育の実施有無について問う。

**A** 地域型保育は、定員20人未満の小規模な保育であり、町内では実施されていない。

## 住民課

**Q** 生ごみ処理機を新たに導入し、来年度から堆肥は作らず、生ごみの分解で発生した水を液肥として活用するところがあるが、処理過程で発生する沈殿物の安全性を問う。

**A** 有害なものとは含まれず、一般廃棄物として処理することになる。



生ごみ処理機

## 農林課

**Q** 中山間地域等直接支払事業の対象農用地の面積や傾斜地等の測量調査するところがあるが、第4期までの課題等を分析して今後どのように活かしていくのかを問う。

**A** 第4期までは、協定期間中に耕作放棄が発生した場合、原則、協定が認定された年度にさかのぼって、協定農用地全体に対して交付金を返還する規定となっていたが、第5期では事務負担の軽減や交付金返還措置の見直しなどがなされる等、取組要件が緩和され、利用しやすくなっていることから、継続して取組めるよう、対象地域に交付農用地の拡大や制度の周知に努めていく。

## 建設課



点検中の施設

**Q** 商工振興対策事業での省エネ型住宅設備等切替推進支援事業補助金の補助率について問う。

**A** 75歳以上の高齢者世帯のみが対象で、高効率給湯器等については3分の2の補助で上限が15万円、寒冷地仕様エアコンについては3分の1で上限が8万円である。

## 商工観光課

**Q** 総合公園の調査委託業務の具体的な内容を問う。

**A** 総合公園内にあるすべての施設を点検し老朽化の進行を調査することにより、今後の修繕費用等を取りまとめ、長寿命化を図るために調査するもの。



# 一般質問



7名の議員が一般質問を行いました。

一部の質問・答弁について、その要旨を掲載しています。

詳しくは、図書館や議会事務局に会議録があるほか、町ホームページでも  
見ることができます。 <http://www.town.tateyama.toyama.dbsr.jp/index.php/>



窪田 一誠 議員

町長 今年度、不動産鑑定を実施し、その報告が10月31日提出され、来年2月頃に建物付き

が。  
採用されたプロポーザルの結果は、地元説明で理解を得たいと考えている。

町長 今年度、不動産鑑定を実施し、その報告が10月31日提出され、来年2月頃に建物付き

が。  
採用されたプロポーザルの結果は、地元説明で理解を得たいと考えている。

## 大規模水害

### ハザードマップの完成時期と見直しの影響は

1,000年に一度の最大規模降雨想定

4月に全戸配布

#### 旧新川保育所 環境を重視し住民が納得を

採用結果は地元説明で理解を得る

での売却を予定している。

また、建物付きでの売却が困難な場合は、町で建物を解体し更地にして土地のみを売却予定としている。

なお、企業誘致は現時点では実施予定はない。

町長 平成27年の水防法改正をうけ、約千年に一度の最大規模降雨をもとに更新作業を行っている。  
令和2年3月末までに町HPで公表し、4月に全戸配布の予定である。



込みとなり、新川公民館は浸水区域には含まれない。

一般質問

議員 災害発生時の情報伝達を防災行政無線や、緊急エリアメール等で発信しているが、風向きや雨音などにより聞き取りにくい。戸別受信器を区長宅に配布してはどうか。

防災対策

防災無線の戸別受信器を区長宅に配布を

高齢者や障害者のみの世帯に貸与を検討する



荻生義明議員

布してはどうか。

総務課長 災害時の情報伝達方法として、防災行政無線、広報車による巡回放送、消防団町内会・自主防災組織等による戸別伝達等を実施する。防災行政無線の区長宅への配布予定は無いが、高齢者や

猪対策

有害鳥獣処理施設・

食肉加工施設を検討しては

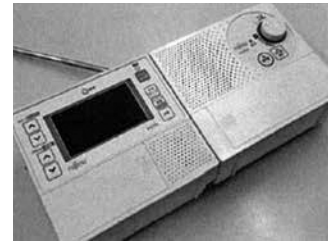
様々な観点から調査・研究を行っていく

議員 豚コレラ対策として町内で捕獲されたイノシシは何頭埋却したのか。

このような状況はいつまで対応しなければならぬのか。

福井県のような、高温焼却処理施設・食肉加工施設を広域で整備することを検討していくべきでは。

農林課長 城前牧場で



戸別受信機 (イメージ)

障害者のみの世帯で希望される方に戸別受信器の貸与を検討していく。

の埋却60頭。冬季は谷地内で行っている。

焼却処分について、検討が必要と考えているが、クリーンセンターでは10kg以下の小動物のみで、イノシシ等の焼却はできない。

今後、鳥獣などの専用高温焼却炉の建設に国、県、他市町村と連携し様々な観点から調査研究を行なっていく。

たい。

栃津川・白岩川の安全

台風19号から考える河川の安全性は

県に適切な管理を働き掛ける



後藤智文議員

め、除去する必要性はないのか。

町長 富山県立山土木事務所に確認したところ、栃津川放水路の取り入れ口付近および放水路については、状況を確認しながら対応していくとのこと。

栃津川と白岩川の合流点の堆積物は国の防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策の予算も活用して、

働き方改革

教員の「変形労働時間制」は慎重に検討を

深刻な影響は避ける

議員 「長時間労働を助長する過労死推進法」とも言われている。この法に対する教育長としての認識、また町教委として慎重に検討すべきだと思うが。

教育長 使用者側が「あらかじめ」業務繁忙期の法定労働時間を

超える所定労働時間を設定できる制度と認識しており、長時間労働の固定化や教員の生命などに影響があつてはならないと考える。

また、学校の業務実態や学校現場の声をふまえ、十分検討していく。



土砂の除去や樹木の伐採を実施する予定であるとのこと。流域の安全・安心の確保のため、県に適切な管理をするよう働きかけていく。

## 新生児聴覚

### 検査の公費負担を

### 他市町村の動向を 踏まえ判断

要支援児に療育が遅滞なく実施されるよう新生児訪問や4か月児健診等で聴覚検査実施の有無及び結果について把握している。

新生児聴覚検査は任意の検査となっているが、町では、ほぼ全て

の新生児が検査をうけており、公費負担については、他市町村の動向を踏まえ判断する。



## 認知症高齢者の徘徊

### GPS端末貸与サービスは

### 情報収集を行い導入について検討

議員 新生児の聴覚障害は1,000人に1人から2人の割合でいるとされており、出産直後の早期発見と早期療養により、音声言語の発達などへの影響を最小限に抑えられると言われている。

町内における検査実施状況は、また経済的負担の軽減の為に検査の公費負担を。

町長 町の平成29年度30年度の受検率は99.3%だった。



髪口清隆 議員

健康福祉課長 令和元年11月末現在、登録高

認知症高齢者等徘徊ネットワーク事業の支援体制状況は、またGPS端末貸与サービスを。

議員 日本の総人口のうち65歳以上の高齢者が占める割合が21%を超えた超高齢化社会に伴い、認知症高齢者は急増し、徘徊はそのままでは命の危険もあり大きな社会問題となっている。

認知症高齢者等徘徊ネットワーク事業の支援体制状況は、またGPS端末貸与サービスを。

GPS端末による位置情報の把握ができれば、高齢者の早期発見により有効であると考えられ、既にサービスを実施している他の自治体の支援手法も含め情報収集を行い導入について検討する。

## 教育の町

### リーディングスキル 展望と「読解力」への見解は

### 学力2極化解消、Wi-Fi環境と 小6タブレット整備へ

議員 4期目折り返しとなるが「教育の立山町」への思い・展望は。また、2年間継続しているリーディングスキルテストの見解は。



澤井峰子 議員

町長 これまで「学校教育環境と基礎学力は県内トップクラスを目指す」を掲げ、固定資産税率をアップしてまで施設整備を進め、大岩教育長提案の下、多人数教室の補助教員に教師OBを配置し、中学校では大学生による放課後学習教室を開催するなど、他の自治体に先駆けて基礎学力向上に取り組んできた。

平成23年以来、小学校の学力テストは常に富山県平均を上回る「教育の町」になったと自負しているが、学力2極化が解消しているとは言えない。

2017年1月「子供たちの多くが教科書を読めていない」という国立情報学研究所の新井紀子教授の講演に衝撃を受け、2018年12月雄山中学校生徒の受検結果を受けアドバイスがあった。

2019年11月、中学生に加え小学校6年生にも受検してもらう

今後、国の補正予算案にはタブレットに対する補助があると聞いているのでそれを活用し、Wi-Fi環境と最低でも小学校6年生にタブレットを整備し、再度受検を行う。

各校長からは各教室にWi-Fi環境とタブレットがないためPCセッティングに手間がかかり、受検に否定的な意見も多くあった。



## 一般質問

**農林課長** 町内の女性団体から「野菜の付加価値向上と年間を通じて加工品の供給施設の整備」の要望を受けて旧調理場を改修したもので平成22年にオープンした。

**議員** 独立採算制は無理がある。ましてや営利企業でないので施設管理も無理。利用の継続性を考えれば、光熱水費や施設維持管理費は当然、町負担なものは、町負担なものと予算を問う。

**教育長** 町の花等は町民からの公募により昭和49年5月に選定されて以来、町のシンボルとして親しまれている。町民カレッジでは菊作り教室を開設し、5年間で58名の受講者が



菊花大会

**議員** 町の「花」・「木」と表記された意匠や崇高な精神は、後世に伝わるのが憂慮される事態になっている。児童生徒への普及や浸透も図る必要があるが、町の文化の振興方を問う。

**町長** 「立山町職員初動マニュアル」により災害の種類ごとに、職員が取るべき行動を明示している。具体的には、地震であれば震度5強以上で第3次非常配備（非常体制）となり全職員が登庁することになる。

**議員** 近年の自然災害の被害は、広範囲で甚大だ。どの災害が、どれくらいの被害で職員の出勤となるのか。また、非正規職員の出勤義務はあるのか。

**商工観光課長** 県が主催する「立山黒部世界ブランド化推進会議」において、議論がなされてきた「黒部ルート見学会の一般開放旅行商品化」については、昨年、県と関西電力株

**議員** 2024年に黒部ルートが一般開放されるが、企画、運営は県が行うという。であれば、わが町が企画等を積極的に提案していくべきと思うが。

これをきっかけとして、さらに多くの方に立山の雄大な自然を楽しんでいただけるよう県や関西電力、立山黒部貫光など関係団体と連携し、立山黒部アルペンルート全体のPRに取り組んでいく。

**議員** 式会社との間で協定が結ばれた。黒部ダムへの新ルートの実現により、立山黒部エリアにおいて、新たな人の流れが創出されることとなる。

## 加工施設

### 上東の活性化施設 振興施策は

既存の利用者との調整とサポートをする



岡田健治 議員

加工施設はあくまで将来的な独立起業に向けた前段のチャレンジ施設と位置づけている。独立起業に向けた相談や農産物加工事業への新規参入希望者が積

## 文化振興

### 町の花「菊」等の芸術文化の振興を

文化祭の新部門や現行部門を引続き取組む



活性化センターで味噌作り

極的に施設利用できるように調整やサポートをしていく。

## 安心安全

### 現職員における 災害対応は

初動マニュアルで 行動を明示



平井久秋 議員

風水害であれば土砂災害警戒情報が発表されると第2次非常配備（警戒体制）となり、総務課員と関係する課員を招集する。被害の発生が予想される場合全職員招集に移行する。職員一人一人が自分

## 観光振興

### 黒部ルート開放と立山周辺観光について

関係団体と連携しPRに取り組む



町総合防災訓練(利田小学校)

の役割を十分に理解ししっかりと対応できるように体制づくりに努める。なお、町では非正規職員の出勤義務はない。

## 3月立山町議会定例会日程

期日	時間	会 議 内 容
3日(火)	10:00～	●本会議 (提案理由の説明ほか) ●全員協議会
4日(水)	9:00～	●全員協議会
11日(水)	10:00～	●本会議 (代表、一般質問)
12日(木)	10:00～	●本会議 (一般質問、補正予算 等の先議ほか)
16日(月)	9:00～	●総務教育常任委員会
17日(火)	9:00～	●産業厚生常任委員会
19日(木)	13:30～	●本会議 (委員会報告、討論、採決)

★本会議の傍聴…どなたでも傍聴できます。

★委員会の傍聴…前日までに議会議務局へ申請してください。

議 員	そ の 他 質 問	議 員	そ の 他 質 問
窪田議員	●立山町の小中学校におけるいじめについて ●「たてポカード」について ●移動販売事業について	澤井議員	●新学習指導要領について ●通学路側溝の整備について ●子供たちが健やかに育つ町へ ●納税のスマートフォン決済導入について
荻生議員	●「たてポカード」について ●マイナンバーカードについて	岡田議員	●年頭の辞「イノシシの受難の年にしたい」達成出来たか
後藤議員	●少子化対策について ●教育について ●立山まちマップについて	平井議員	●有害鳥獣対策について ●ブリーチング救助訓練の実施について
髪口議員	●5Gについて		

## ～令和元年10月臨時会～

10月15日に令和元年10月臨時会が開かれ、補正予算1件、契約の締結について1件、財産の取得について1件の合計3件の議案を可決しました。

### 【令和元年度一般会計補正予算】主な補正予算概要

- 豚コレラ対策事業…1,137万円（豚コレラに感染したイノシシの捕獲・処分等に係る経費）
- 過誤納付還付事業…250万円（町税の還付が当初の想定より多く発生しているため増額）

### 【契約の締結】

- 立山ブランド海外展開戦略拠点施設整備建築主体工事請負契約の締結について  
…3億1,735万円  
(新栄建設・菅原建設立山ブランド海外展開戦略拠点施設整備建築主体工事共同企業体)

- 【財産の取得について】20年以上経過した除雪トラックを更新するもの  
…3,168万円（中田自動車有限会社）

## 令和元年10月立山町議会臨時会 議員別賛否一覧表

○賛成 ×反対

議 案		議 長	議 員												
		村 田	髪 口	平 井	荻 生	澤 井	石 田	村 上	岡 田	内 山	佐 藤	伊 東	後 藤	坂 井	窪 田
第 99 号	令和元年度立山町一般会計補正予算について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第100号	立山ブランド海外展開戦略拠点施設整備建築主体工事請負契約の締結について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第101号	除雪トラックの取得について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。

# 令和元年12月立山町議会定例会 議員別賛否一覧表

○賛成 ×反対

議 案		議長	議 員												
		村田 昭	髪口 清隆	平井 久秋	荻生 義明	澤井 峰子	石田 孝夫	村上 紀義	岡田 健治	内山 昭	佐藤 康弘	伊東 幸一	後藤 智文	坂井 立朗	窪田 一誠
第 95 号	平成30年度立山町一般会計、立山町国民健康保険事業特別会計、立山町後期高齢者医療事業特別会計、立山町墓地公園事業特別会計、立山町地域開発事業特別会計、立山町農業集落排水事業特別会計及び立山町浄化槽設置管理事業特別会計の決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 96 号	平成30年度立山町水道事業会計利益の処分及び決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第102号	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度立山町一般会計補正予算)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第103号	令和元年度立山町一般会計補正予算について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第104号	令和元年度立山町国民健康保険事業特別会計補正予算について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第105号	令和元年度立山町農業集落排水事業特別会計補正予算について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第106号	令和元年度立山町水道事業会計補正予算について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第107号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第108号	立山町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第109号	立山町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の全部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第110号	立山町職員の給与に関する条例及び立山町長、副町長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第111号	立山町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第112号	立山町職員等の旅費に関する条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第113号	立山町水道事業給水条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第114号	旧五百石保育所解体工事請負契約の変更について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第115号	立山イノベーションパーク企業団地造成工事請負契約の変更について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第116号	立山アドバンストガーデン企業団地造成工事請負契約の変更について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第117号	釜ヶ淵小学校校舎再生可能エネルギー設備等導入工事請負契約の変更について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第118号	雄山中学校校舎再生可能エネルギー設備等導入工事請負契約の変更について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。

# 決算特別委員会 平成30年度決算を認定

## 健全な財政運営に努め、活気ある立山町へ



立山町搾汁施設にて（旧上東中学校）

令和元年度9月定例会において付託された、議案第95号平成30年度立山町一般会計ほか特別会計6件の決算認定について、及び議案第96号平成30年度立山町水道事業会計の利益の処分及び決算認定については、可決及び認定した。

決算特別委員会では各事業における予算が適正に執行されたか、行政効果や費用対効果

等はどうであったかを中心に、行財政全般にわたり慎重に審査を行った。

審査の意見等は次のとおりである。

◎公債費（町の借金）の比率が若干下がっており、将来負担比率、実質公債比率も改善されているが、いずれの数値も類似団体平均より高いことから、今後とも中・長期的な財政運営の健全化に努められたい。

◎町税の収納率は前年度と同水準であり、引き続き町民に不公平が生じないよう、保育料住宅使用料、水道料も含め、収納率の向上に努められたい。

◎魅力あるまちづくりを進めるため、有害鳥獣対策を強化し、移住・定住や自伐型林業農業女子などによる里山の活性化や特産品の

開発など、地域おこしの促進に継続して取り組まれたい。

◎人口減少が進展するなか、子育て世帯への支援や負担軽減を進めるとともに、次代を担う子どもたちへの教育内容の充実を図り、教職員の負担軽減に努められたい。

◎除雪対策について、除雪機械・オペレータの問題も含め長期計画を持って、事業に取り組まれたい。

◎引き続き企業誘致の推進を図り、活気あるまちづくりと町民の雇用確保に取り組まれたい。

◎国民健康保険事業会計においては、平成30年度より市町村国保の広域化が施行されたが、安定的な維持運営のため、継続してジェ

ネリック医薬品の推進による医療費の抑制や国民健康保険税の収納率の向上を図られたい。

◎水道事業会計においては、人口減少や節水型社会への移行の中で老朽化した水道管により、近年漏水が多発している状況であり、住民のライフラインを守るために管路の更新に必要な財源を確保され財政基盤の強化と健全経営に努められたい。



釜ヶ淵分団詰所にて

### 【まとめ】

委員会において論議した事項や意見については、当局におかれても十分検討され、今後の予算編成、予算の執行及び事業の実施に適切に反映されるよう望む。

### 【決算特別委員会】

委員長	石田 孝夫
副委員長	澤井 峰子
委員	髪口 清隆
〃	平井 久秋
〃	荻生 義明
〃	坂井 立朗



岩峯野調整池にて

# 最近の議会での主な活動

## 関西立山会

【日 程】令和元年 10月19日(土)

【場 所】ホテルヴィスキオ尼崎  
(兵庫県尼崎市)

【出席議員】村田議長



## 町村監査委員全国研修会

【日 程】10月31日(木)～11月1日(金)

【場 所】メルパルクホール  
(東京都港区)

【出席議員】内山議員



## 第63回 町村議会議長全国大会ほか

【日 程】令和元年 11月12日(火)  
～13日(水)

【場 所】NHKホール  
(東京都渋谷区) ほか

【出席議員】村田議長



## 町・町教育委員会表彰式

【日 程】令和元年 11月1日(金)

【場 所】町民会館

【出席議員】13名

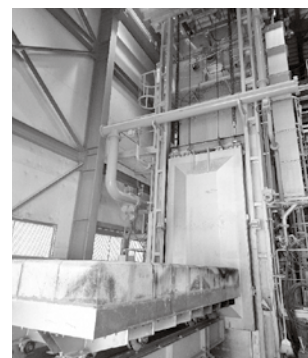


## 嶺南地域 有害鳥獣処理施設等視察

【日 程】令和元年12月9日(月)

【場 所】嶺南地域有害鳥獣  
処理・加工施設  
(福井県三方上中郡若狭町)

【出席議員】12名





南雲議長より説明を受ける

## 議会運営委員会〈11月20日～21日〉

### 先進地 湯沢町議会にて議会運営と議会改革について学ぶ(新潟県湯沢町)

議会運営委員会では、11月21日に新潟県湯沢議会において、議会運営に関わる取り組みについて視察研修を行った。

湯沢町の議員定数は12名、平均年齢は64.9歳、最年長81歳、最年少52歳で、会派がない。

本会議の質問形式は一問一答方式で行い、1人の持ち時間は質問と答弁を含めて60分間となっている。

定例会における質問者の人数制限はなく、議長を含む全議員が一般質問している。

議会改革の取り組みでは、議員定数の見直しを行い、平成15年4月以降20名から12名まで削減している。また、「町民と議会の関係」「長と議会の関係」「災害

対策」を制度化するため、平成27年4月30日に議会基本条例を施行された。条例の制定が議会の自己満足であるという傾向も否めないが、条例の制定作業自体が一定の議会改革効果を持ち、議会のあり方を問い直す要素もある。形骸化したルールの見直しは、議会の活性化へ繋がるのが期待できるとのことである。

結びに近年、議会改革の主として「開かれた議会」といった改革が求められている。住民参加型の議会運営と議会改革等について様々な取り組みがある中で、当町議会に適したものを取り上げながら、町民の皆さまと共有できるような議会運営、議会改革を推進していきたい。

#### 【議会運営委員会】

委員長	窪田 一誠
副委員長	坂井 立朗
委員	澤井 峰子
〃	石田 孝夫
〃	佐藤 康弘
議長	村田 昭

## 立山自然保護特別委員会 〈10月28日～29日〉

### 白山自然保護センターにて



白山自然保護センターにて説明を受ける

10月28日から29日にかけて、石川県の白山自然保護センターを視察し、白山国立公園における業務について研修を行った。

センターの主な仕事としては、①白山地域の自然と文化についての普及啓発活動、②自然環境の保護と秩序ある利用を図るための動植物、地質、人文についての調査研究、③自然保護法に基づく許可や施設、登山道の保護管理の業務があげられるとのことである。

自治体では有害鳥獣による被害が年々拡大しているが、センターが実施する鳥獣保護のための調査・研究の結果を活用し、個体数の

管理につなげる等、関係機関との連携強化の必要性を実感し、有意義な視察になった。

#### 【立山自然保護特別委員会】

委員長	伊東 幸一
副委員長	内山 昭
委員	佐藤 康弘
〃	後藤 智文
〃	坂井 立朗
〃	窪田 一誠
〃	村田 昭



## 令和元年12月末までに、2団体、延べ13名の行政視察を受け入れました。詳細は次の通りです。

	日	受入団体名	人数	テーマ
1	8 / 7	岡山県倉敷市議会「水島会(会派)」	7名	元気交流ステーション「みらいぶ」について
2	11/20	宮崎県木城町議会(総務常任委員会)	6名	民生委員・児童委員の推薦方法、後継者の育成、活動支援等について



8/7倉敷市議会受入



11/20木城町議会受入

### 議会広報特別委員会 視察研修報告

令和元年度の町村議会広報研修会が、9月25日に東京千代田区のシェーンバッハ・サボーにて行われ、委員7名と職員1名の計8名で出席した。この研修の目的は、「議会活動に対する住民の関心と理解を深めることが求められている状況を鑑み、担当者を対象にした研修の場を設け、議会広報の発展に資すること」とあり、今回も全国各地の町村議会から多数参加されていた。

今回の講師陣は、「企画・編集」部門で月刊総務編集長の豊田健一氏、「文章の作り方」部門で朝日新聞の前田安正氏、「デザイン」でエディターの吉村 潔氏の3名で、それぞれの分野で活躍されている先生方が具体例を挙げながらの、大変わかりやすい講演であった。

特に編集での（住民目線に立った）、（つながりを感じると読もうとする）などのキーワードは、報告になりがちな「議会だより」を、違う視点から見ることが大切なのではと感じた。

また、広報誌の全国最優秀賞に選ばれた、埼玉県寄居町では「読まれない議会だよりに出す意味なし」として、6つの編集方針のもとで作成されている。わが町でも何か変革は出来ないか？帰ってきてから作成した議会だより9月号で、QRコードを採用したのもこれに習ったもの。その他にも参考になる事例が多くあり、これからも採用できるものはどんどん取り入れ「読まれる議会だより」を目指し、委員と知恵を出し合い、よりよい紙面作りに努めたい。



## あ と が き

議会や議会だよりについて、みなさんのご意見・ご感想は

立山町議会内 議会だより係

TEL 462-9984 FAX 464-1118 まで

図書館及び町HPの「議会会議録」もご覧ください

らいいい&らいいい  
LINEスタンプ販売中



議会広報特別委員会  
委員長 澤井 峰子  
副委員長 平井 久秋  
委員 萩生 清隆  
委員 石田 孝夫  
委員 村上 紀義  
委員 岡田 健治

ねずみ年は繁栄の年です。「子」の字には増えるという意味があり、子孫繁栄の年になるともいわれています。  
2020年（令和2年）いよいよ東京オリンピックが開催されますが、経済だけでなく世の中も盛り上がるでしょう。  
立山町においては、企業誘致により新規事業者が参入し、上段東谷地区では酒蔵の建設も始まり、民間企業のサテライトオフィスやリゾート開発「ヘルジアンウッド」もオープン予定です。  
平坦地観光として、今後見守るとともに、地域住民はもとより町民のみなさんと一緒に立山町を盛り上げていきましょう。  
4月には、ハザードマップが各家庭に配布されますが、災害のない年であることを願います。  
(石田 記)